

平成19年1月19日

各位

会社名 常磐興産株式会社
代表者名 代表取締役社長 斎藤一彦
コード番号 9675 (東証第1部)
問合せ先 取締役管理本部長 秋田 龍生
電話番号 03-3663-3411

第3次中期経営計画について (平成18年度～平成20年度)

I. 第3次中期経営計画の位置付け

第2次計画期間中(平成15年度～平成17年度)においては、地元「いわき市」と連携を深め共に発展する共存共栄の関係を構築し、観光事業へ一層の集客増を図るべく、本店を福島県いわき市に移転いたしました。また東京・札幌に所有する賃貸ビルを売却するなど、有利子負債を大幅に削減し財務体質の改善を強力に推進いたしました。さらに、資産の有効活用を促進し経営の効率化を進めるべく、意思決定の迅速化、機動的運営を図るため、当社開発事業部門を㈱JKリアルエステートに吸収分割するなど、経営の効率化と収益力の向上による企業価値の増大に取り組んでまいりました。

しかしながら、当社グループを取巻く環境は依然として厳しく、決して楽観できる状況にはありません。一段の利益確保を図るために新たな施策を進めていく必要があると認識しております。そこで、当社グループといたしましては、基幹事業施設である「スパリゾートハワイアンズ」のウォーターパーク内を10年ぶりに大規模改修し、2つのテーマゾーンを順次オープンするという内容の観光事業の安定収益基盤構築を骨子とした、3ヶ年の中期経営計画を策定・実行することといたしました。

第2次中期経営計画の概況

(単位:百万円)

	H15.3月期 個別	H18.3月期 個別	H15.3月期 連結	H18.3月期 連結
売上高	28,185	28,497	47,836	46,160
経常利益	1,125	600	2,098	521
当期純利益	449	△1,691	796	△154
有利子負債	43,283	28,499	53,275	33,376
従業員数	233	314	976	806
連結子会社数	—	—	22	13

II. 経営目標

(1) 個別 (単位:百万円)

	H18.3月期 実績	H19.3月期 見込	H20.3月期 計画	H21.3月期 計画
売上高	28,497	30,330	32,100	33,300
営業利益	1,517	1,384	1,500	1,600
経常利益	600	690	650	750
当期純利益	△1,691	△580	400	650
有利子負債	28,499	28,000	27,000	26,000

(2) - ① 連結 (単位:百万円)

	H18.3月期 実績	H19.3月期 見込	H20.3月期 計画	H21.3月期 計画
売上高	46,160	49,180	46,800	48,300
営業利益	1,674	1,349	2,200	2,370
経常利益	521	550	1,300	1,450
当期純利益	△154	△350	800	1,000
有利子負債	33,376	32,200	31,200	29,900

(2) - ② 連結 (セグメント別) (単位:百万円)

	平成18.3月期 実績		平成19.3月期 見込		平成21.3月期 計画	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
観光	12,254	1,675	12,606	1,856	13,300	2,100
製造関連	8,862	442	10,393	523	9,300	550
建設・土木	7,052	△422	6,550	△656	4,200	110
卸売	14,677	170	17,011	197	19,000	210
不動産	1,142	365	393	64	330	60
その他	2,169	67	2,227	21	2,170	45
消去又は全社	—	△623	—	△656	—	△705
合計	46,160	1,674	49,180	1,349	48,300	2,370

方針： スパリゾートハワイアンズを中核とした観光事業の安定収益基盤を構築すべく、ウォーターパーク内のリニューアルを実施し、日帰集客人員150万人・宿泊集客人員38万人の維持ならびに総消費単価のアップにより、観光事業部門の営業利益20億円を安定的に確保する。(リニューアル内容については、別添資料参照)

建設・土木業部門については、選別受注により不採算工事の受注を回避し工事損益確保を図るとともに、人員削減・営業所統廃合等によるコスト削減を推進し、黒字化を達成する。

なお、配当につきましては二期連続無配と株主の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。平成19年度より復配を予定しております。